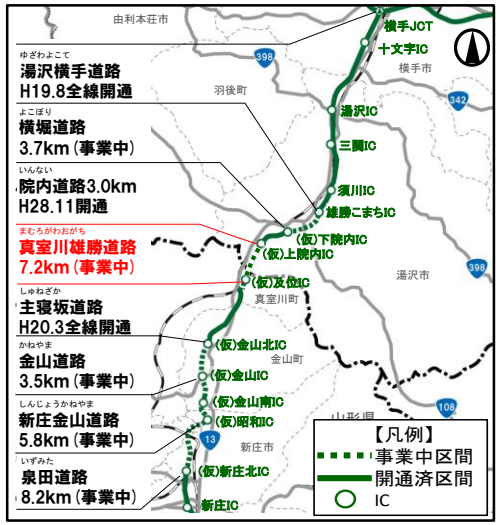
真室川雄勝道路（まむろがわおがち）

位置図



事業の目的

真室川雄勝道路は、東北中央自動車道の一部を構成し、秋田・山形の県境部の冬期交通機能を確保します。また。高速ネットワークが形成され、速達性や定時性が確保されることで、地域連携の強化により、冬期周遊観光の支援などを目的としています。

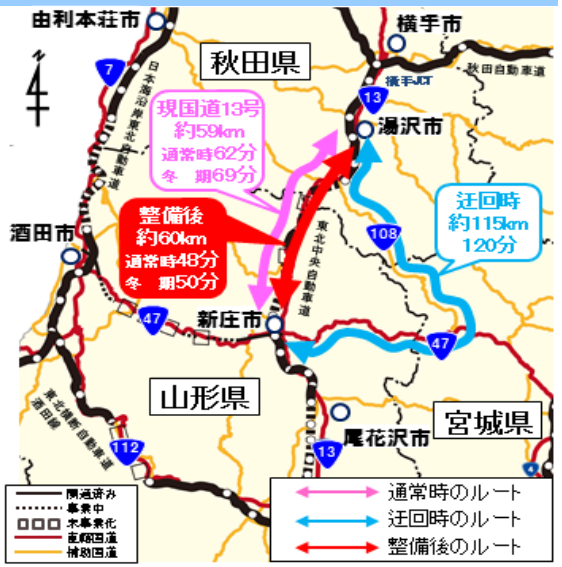
事業概要

起終点：山形県最上郡真室川町大字及位～
秋田県湯沢市上院内
車線数：2車線
設計速度：80km/h
道路延長：7.2km

●冬期降雪の影響を回避する交通機能が向上

●当地域は東北有数の豪雪地帯であり、東北管内では月山に次ぎ、雪崩・落雪予防作業の交通規制等を実施しており、移動時間の遅れやバラツキが発生しています。

●真室川雄勝道路の開通することにより、冬期の走行環境が改善や災害時の広域迂回の解消され、山形県、秋田県間の生活・産業に寄与することが期待されます。



【速達性の向上】　新庄市～湯沢市
・通常期：現況62分→整備後48分（14分短縮）
・冬　期：現況69分→整備後50分（19分短縮）

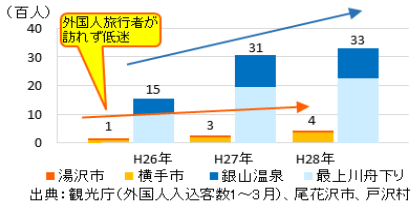
【災害時の迂回解消】新庄市～湯沢市
・広域迂回時（R108～R47）：115km 120分　→　整備後：60km 48分（約6割減少）

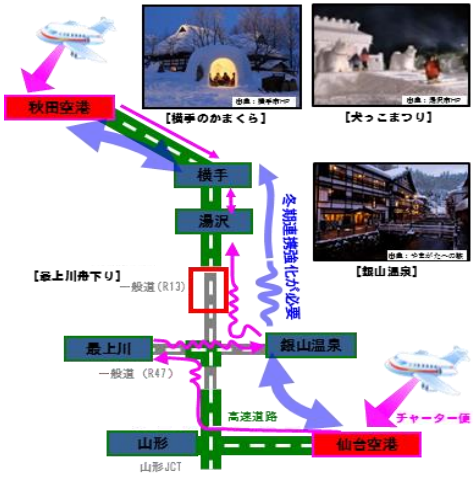
整備による広域迂回解消

●冬期の周遊観光に不可欠な高速道路ネットワークを構築

●秋田・山形両県が連携し、冬の魅力をテーマとした観光誘客に取り組んでいますが、冬期間は国道13号の定時性が確保できず、移動時間のばらつきが懸念されています。

●真室川雄勝道路の開通することにより、道路ネットワークが構築され、秋田・山形両県の地域連携を強化することで、インバウンドを含めた地域の観光にも寄与することが期待されています。





・チャーター便を利用した
周遊観光ルート事例